

みんなと子育て~



外国人に伝えるための「やさしい日本語」 相手に合わせてやさしい気持ちで「やさしい日本語」を

子育てをする中で困ったことや不安を感じることは誰にでもあります。特に外国から来て子育てをしている人たちは、文化の違いや習慣の違い、日本語の難しさにとまどうことが多くあります。話しかけて力になりたいと思うけれど、英語で話しかける勇気が・・・そういう時に「やさしい日本語」を使って会話してみませんか? 「やさしい日本語」は災害情報をわかりやすく伝えるために、阪神淡路大震災をきっかけに生まれました。平時でも行政や生活情報、日々のニュースの発信など様々な分野で活用されています。

日本語の何がムズカシイ?



「やさしい日本語」のポイント

- 1 ゆっくり話す
- 2 短く区切って話す
- 3 簡単な言葉に言い換える
- 4 カタカナ・外来語はできるだけ使わない
- 5 具体的に伝える
- 6 方言をできるだけ使わない

たとえば・・・普通の日本語

- お子さんはおいくつですか?
- 手続きにかかる書類はご持参ですか?
- どうぞおかけください。
- キャンセルします。
- 洗いましょう。
- こちらの欄に連絡先をご記入ください。

やさしい日本語

- あなたの子どもは何歳ですか?
- 必要なものは持っていますか?
- すわってください。
- やめます。
- 洗ってください。
- ここにあなたの電話番号を書いてください。

参考文献：一般財団法人自治体国際化協会大阪府支部（大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課）作成
「やさしい日本語を使いましょう!—外国人とのコミュニケーション術—」より



みなとくやくしよ 港区役所ホームページ 外国語ページへの入り方(スマホ)



おおさかし 大阪市ホームページ「Language」のページへの入り方
おおさかし 大阪市ホームページを自分の言語で見ることが出来ます

おおさかし 大阪市ホームページ
「やさしい日本語での大阪生活ガイド」

笑顔の素敵なススマさんに聞きました



ネパールから来た
ビダリ ススマさん(Bidari Sushma)

来日して4年目、現在、夫と1歳の娘と3人で港区で暮らしています。ススマさんはネパールで6か月間日本語を勉強し、ひらがなとカタカナは読めます。小さい時から英語での教育を受け、日本人との会話では、英語を使うこともあります。



インタビュー
子育て支援室 松岡 美恵子

私たちは外国人に伝えるための「やさしい英語」と「やさしい日本語」を使って会話しています。

Q ネパールでの生活について教えてください。

A ネパールでは年上の人を敬う文化が生活の中にあります。夫の両親の家は首都のカトマンズにあり、3階建てで大家族で暮らしています。ネパールのパパとママは子どもを保育所に預けて、仕事をしています。ネパールでは、毎月、お祭りがあり、家族みんなで楽しみます。お祭りの時にネパールに帰りたいと夫と話しています。

Q ネパールと日本、違いを感じることはどこですか?

A 日本はきれいで安全な国。Very good country! 一番違いを感じるのは、discipline (規律)・・・いろいろなことに規律があることが大きく違います。生活するうえで、規律があるのは良いことだと思います。

Q 生活する上で欠かせない買い物や交通機関での移動についてはどうですか?

A 日本でのバスや電車を使っての移動は簡単で、困ったことはありません。スーパーでは、日本語がわからなくてもレジで聞いたらすぐに教えてくれるので大丈夫です。商品の内容がわからない時には、レジに持って行って尋ねると丁寧に教えてくれます。日本人は、みんな親切で助かっています。

Q 日本の医療と子育てのサポートについてどう思いますか?

A 医療、保健師の制度など、ネパールも少しずつ良くなっていますが、日本のような担当保健師がサポートするという制度はありません。日本の制度は、赤ちゃんに対するサポートが特に素晴らしいです。いつも気にかけてもらったり訪問してもらっています。子育てで困ったときは、保健師さんや子育て支援室に相談しています。

Q 「普通の日本語」と、外国人に伝えるための「やさしい日本語」でススマさんに話しかけてみました。

A 「どちらにお住まいですか?」・・・「どこに住んでいますか?」「おでかけですか?」・・・「どこに行きますか?」「やさしい日本語」の方は、「意味がわかります」とのことでした。

ススマさんありがとうございました。
みなさんも外国人の方を見かけたら「やさしい日本語」で話しかけてみてください。